

横尾本谷 右俣

2014年10月18日(土)～19日(日)

メンバー：柴田(リーダー)、宮本、JO

快晴の空の下、横尾本谷を逆行した。既に、紅葉シーズンは終わっていたが、最高の山行になった。本谷大橋を渡らず、右岸で休憩している登山者を横目に、そのまま左岸を進む。涸沢への旧道だという事で、ペンキマークや登山道跡もところどころに残っている。残置ロープもあり、藪漕ぎではあるが問題なく進む。崩壊した場所で、沢に降りる。



右岸左岸と渡りながら、上を目指す。ケルンや、踏跡もありそれを探しながら進む。新人二人も、問題ない。涸沢を分け、二俣を目指す。この日、横尾本谷には私たちの他に単独行の男性が入っていた。



上高地を出発してから8時間、やっと黄金平を捉える事が出来た。
背後には、屏風岩。涸沢への登山道もはっきり見える。
偵察を繰り返し、大岩を乗り越えやっと着いた黄金平は天国のような場所だった。
黄金平まで来られた事を三人で感謝して、宴となる。
食担の自分が、忙しくて時間が取れず、レトルトカレーだったが、美味しい夕食が取れた。
自分は夕食後寝てしまったが、二人は星空観察にテントの外に出たという事だった。
黄金平のジバークになってしまったが、沢の水量は問題なく水の確保も容易だった。



2日目

天狗のコルを目指す。コルに近づくにつれて、傾斜が増してくる。

J Oが、先行してルートを探す。宮本と、枯れた沢を渡っている時、ラクーの声。

横尾本谷に入ってから、時々落石の音が聞こえていたが、今回の落石はこっちに向かって来る。

宮本を引き倒すように、人の頭位の落石をやり過ごす事が出来た。

幕営地出発から2時間、天狗のコルに飛び出る。槍ヶ岳を始めてみたという宮本の感激に、自分もうれしくなる。時間も無いので、南岳登頂をあきらめ、槍沢を下山する。

積もった雪を口に入れながら、天狗池に着く。さざ波が立っていたが、逆さ槍は見る事が出来た。16時、上高地に下山する。

以上